

認定かかりつけ 基準薬局リスト

鹿角支部

黒沢薬局 ☎0186-35-3200 ☎35-3990
すみれ調剤薬局小坂店 ☎0186-29-5121 ☎29-5122

大館・北秋田支部

さとう調剤薬局 ☎0186-44-5055 ☎44-5056
ひない調剤薬局 ☎0186-45-4203 ☎45-4031
わかば薬局 ☎0186-45-1660 ☎45-1661

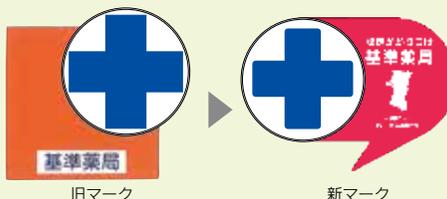
能代・山本支部

調剤薬局ユニファー ☎0185-89-1701 ☎89-1702
とまと薬局 ☎0185-54-5950 ☎53-2911

本荘・由利支部

あすか調剤薬局 ☎0184-23-7171 ☎23-7189
イケダ調剤薬局 ☎0184-65-2047 ☎65-2327
上原調剤薬局 ☎0184-22-2728 ☎24-0432
おいかた調剤薬局 ☎0184-62-4122 ☎62-4133
大越薬局 ☎0184-22-3903 ☎23-5011
大越調剤薬局あかぬま店 ☎0184-24-0541 ☎24-0548
大越調剤薬局このうら店 ☎0184-74-3988 ☎74-3989
オレンジ薬局 ☎0184-28-1201 ☎28-1202
象潟調剤薬局 ☎0184-43-4655 ☎43-5712
クロバー調剤薬局 ☎0184-27-1120 ☎24-1422
サン薬局 ☎0184-23-7338 ☎27-1570
西目調剤薬局 ☎0184-33-4880 ☎33-4877
ねむの木調剤薬局 ☎0184-43-2000 ☎43-2060
ファミリー薬局 ☎0184-28-0800 ☎23-8200
ふしみ薬局 ☎0184-27-6222 ☎27-6223
本荘駅前調剤薬局 ☎0184-28-4550 ☎23-3577
ぼんてん調剤薬局 ☎0184-44-8398 ☎44-8399
みつばち調剤薬局 ☎0184-27-1050 ☎23-1100

地域の皆様のために新しく作られた
“認定かかりつけ基準薬局”です



処方せんの有効期限は
処方日を含めて4日間です。

秋田県薬剤師会

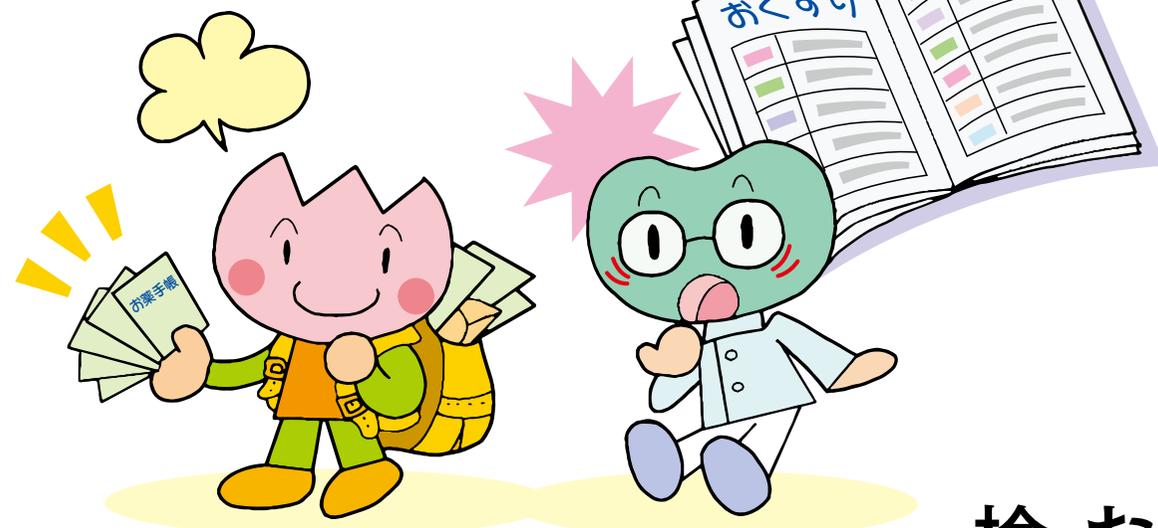
秋田市千秋久保田町6-6 TEL.018-833-2334
E-mail info@akiyaku.or.jp http://www.akiyaku.or.jp

剤師」という言葉が話題になってい
ます。厚生労働省は、お薬の専門家
である薬剤師の活躍を促し、より地
域医療のために力を発揮してほし
いと期待しているようです。また、お
薬だけではなく、生活に関わる化学
製品、食品、サプリメント等に対し
ても、持っている薬学的・医学的な知識
をフルに活用して、生活者の安全を
守り、地域に貢献するよう求められ
ています。「今の時代は、インターネッ
トがありますよ」とはよく聞く言葉
ですが、単なる知識(情報)と実生活
には大きな隔たりがあり、適正に情
報を活用するには取捨選択が必要

になります。すなわち、ネットの情報
は個別性に関して十分とはいえませ
ん。その患者さんに適切かどうか、薬
剤や食品との相互作用、また、何を
注意したら良いかなど、丁寧に、いつ
でも答えてくれる特別な薬剤師さ
んがいるというのは安心です。皆さん
も、ぜひ「かかりつけ薬剤師」を持っ
てください。ご自身の健康を安全に
保つために！

検査値を生かす

病気の治療経過は血液・尿検査、
その他いろいろな検査を行って評価
するのですが、各種検査の結果を医
療機関から受け取り、そのまま大事
に保管している患者さんは少なく
いと思えます。患者さんの立場なら、
担当医から「検査の結果は良かった
と説明されると安心するでしょう
が、日々薬剤師として働いている者
にとっては、お薬の効果、副作用など
はとても気になるものです。実はそ
の情報は血液検査や尿検査などか
ら分かるものも多いので、ぜひ各種
の検査結果も薬局で見てもらい、治
療経過や副作用の有無、今後注意す
べき点などを評価してもらってはい
かがでしょうか。一人一人の患者さん
の「かかりつけ薬剤師」としてお役に



お薬手帳、かかりつけ薬剤師、 検査値の上手な使い方

お薬手帳は 「つ」にしましょう

昨年
の熊本や福島の地震の際、皆
さんも3・11東日本大震災を思い出
し、ひやりとしたのではないでしょ
うか。「備えあれば憂いなし」、「そんな
ことは分かっていますよ」という声
が聞こえてくるようです。

地震、津波はいつやってくるか分
かりません。もし、「非常用持ち出し
袋のスペースに『お薬手帳』の入ると
ころはありますか?」と患者さんに
尋ねた際に、「あります。たくさんお
医者さんにかかっているの、その
分、たくさんのお薬手帳があるので、
十分なスペースを取っていますよ」と
答えて返ってきたらとても心配です。
「一つにまとめたらいかがでしょう
か?」と問いかけると、「いや、A医
院のお医者さんに、B医院を受診し

ていることが分かるとまずいもんで
ねー」と患者さん。気持ちはよく分
かりますが薬剤師としては、心中穏
やかではいられません。

最近、たくさんのお薬を使用して
いる患者さんが多いのですが、本当
に必要なものだけでしょうか。名前
が違うだけで、同じお薬(有効成分)
であったり、違うお薬でも働く場所
が同じであったり、また、「一緒に使え
ないお薬もあります。治療のつもり
が、別の病気(お薬の副作用)を作っ
てしまうようなこともあります。ぜひ
「お薬手帳」は一つにまとめ、薬局で
見てもらいましょう。

非常時、お薬手帳は誰でも使用で
き、バッテリーもいらぬ優れもので
す。

かかりつけ薬剤師

昨年の4月から、「かかりつけ薬

立てるよう努めて参ります。

(ひまわり薬局能代店 佐久間雅文)